

Timeless Mucha

Mucha to Manga — The Magic of Line



Timeless Mucha

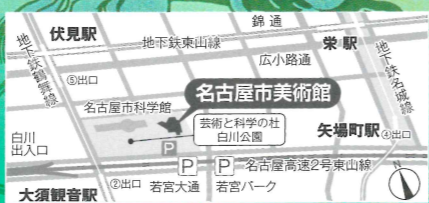
Mucha to Manga — The Magic of Line

【観覧料(税込)】

| | 当日 | 前売/団体 |
|--------|--------|--------|
| 一般 | 1,500円 | 1,300円 |
| 大学・高校生 | 1,000円 | 800円 |
| 中学生以下 | 無料 | |

* 団体は20名以上に適用

*障害のある方、高齢者の方は手帳の提示により本人と付添者2名まで当日料金の半額でご覧いただけます。
 *名古屋市交通局発行の「トニエコミッパ」(一日乗車券)を当日利用して来館された方は100円割引。
 *「名古屋市美術館常設展定期観覧券」の提示で団体料金も適用されます。
 *いずれも他の割引との併用はできません。
 *「みんなのミュシャ」展の観覧券で常設展もご覧いただけます。



※本場は公共交通機関をご利用ください。
 *地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」下車、9番出口から南へ徒歩8分
 *地下鉄鶴舞線「大須観音駅」下車、2番出口から北へ徒歩7分
 *地下鉄名城線「矢場町駅」下車、4番出口から西へ徒歩10分

■前売券(販売期間11月1日(金)~4月24日(金))
 【販売場所】店頭:ファミリーマート、セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ(Lコード42164) チケットぴあ(Pコード769-835)、ローソンチケット(Lコード42164)、セブンチケット、イーバスなどでお求めいただけます。
 アルフォンス・ミュシャ《モナコ・モンテカルロ》(部分)
 1897年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 © Mucha Trust 2019

名古屋市美術館 芸術と科学の杜
 Nagoya City Art Museum
 〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-25 (芸術と科学の杜・白川公園内)
 TEL: 052-212-0001 FAX: 052-212-0005 <http://www.art-museum.city.nagoya.jp/>

みんなの ミュシャ

ミュシャからマンガへ — 線の魔術

【展覧会公式HP】 [みんなのミュシャ 名古屋](#)

2020 4.25 ^{SAT} ~ 6.28 ^{SUN}

【閉館時間】午前9時30分~午後5時、金曜日は午後8時まで(入場は閉館30分前まで)
 【休館日】月曜日(5月4日は開館)、5月7日(木)

名古屋市美術館 芸術と科学の杜
 Nagoya City Art Museum

【主催】名古屋市美術館、ミュシャ財団、中京テレビ放送、読売新聞社
 【後援】チェコ共和国大使館、チェコセンター、チェコ政府観光局、名古屋市立小中学校PTA協議会
 【協賛】大成建設、光村印刷、損保ジャパン日本興亜
 【協力】日本航空、日本通運、名古屋市交通局 【企画協力】NTVヨーロッパ

アルフォンス・ミュシャ《舞踏—連作(四葉術)より》(部分)
 1898年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 © Mucha Trust 2019

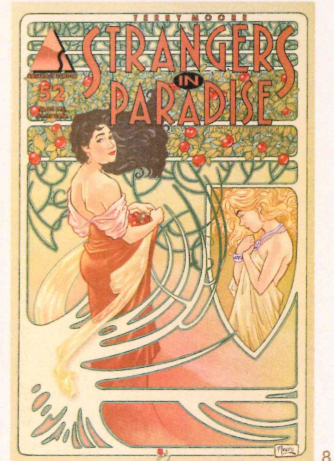
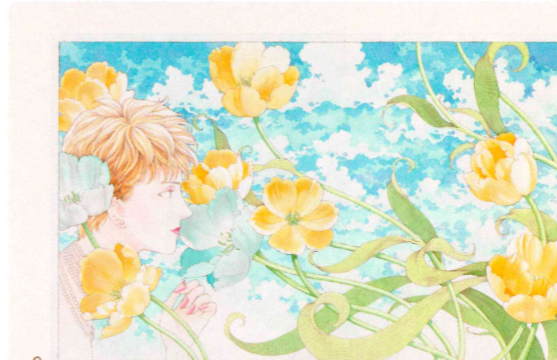
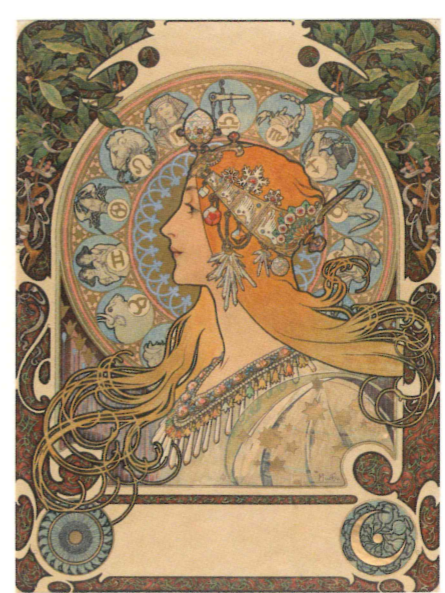
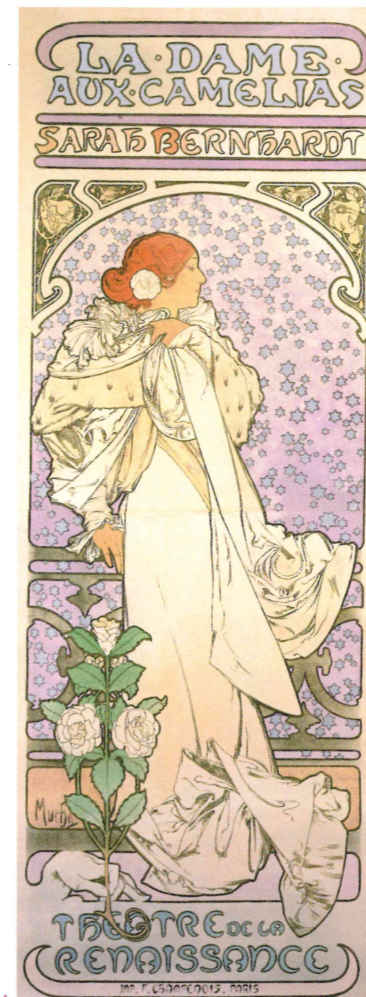
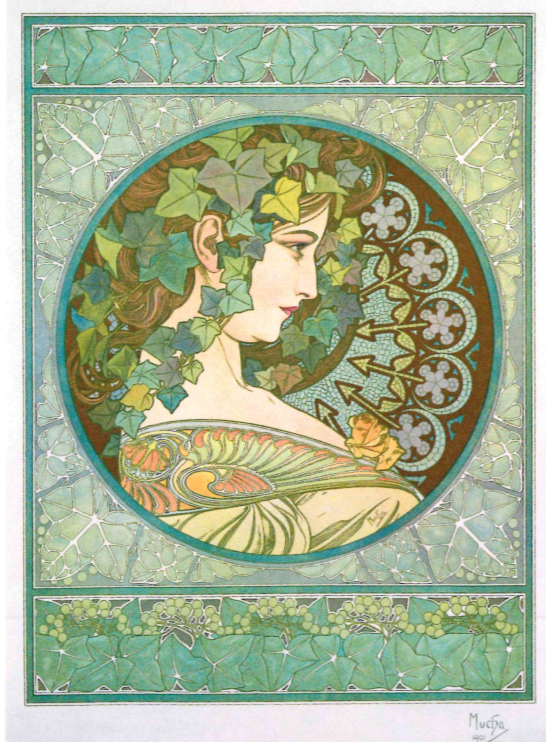


時代を超えて、今もミュシャは生きている

現在のチェコ共和国に生まれたアルフォンス・ミュシャ(1860-1939)は、1887年にパリに生まれました。当時の人気女優サラ・ベルナールを描いたポスター《ジスモンダ》が評判となり、一気にポスター作家として著名になります。その後も、次々に印象的なポスターなどを制作してアル・ヌーヴォーを代表する画家として大成功を収めました。ミュシャの作品の流れるような曲線美はまさに「線の魔術」ともいえるもので、華やかな装飾とともに美しい女性像を彩っており、私たちが夢のような世界に誘います。

本展はミュシャ財団監修のもと、ミュシャ幼少期の作品に始まり、自身の蔵書や工芸品、デザインやイラスト、ポスターを展示し、さらに、後世においてミュシャから影響を受けたアーティストたちの作品も紹介しています。明治の文芸雑誌の挿絵、1960-70年代のイギリスやアメリカのグラフィック・アート、日本のマンガ家やアーティストの作品を通じて、ミュシャ様式と呼ばれるスタイルが後世のアーティストにいかにか大きなインスピレーションを与えてきたかを確認することができるでしょう。

時代を超えて愛され続けるミュシャという画家の秘密に迫る、これまでにないミュシャ展にどうぞご期待ください。



- 1 アルフォンス・ミュシャ《ヒヤシンス姫》 1911年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2019
- 2 アルフォンス・ミュシャ《ジョブ》 1896年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2019
- 3 アルフォンス・ミュシャ《ツタ》 1901年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2019
- 4 アルフォンス・ミュシャ《檸檬姫》 1896年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2019
- 5 アルフォンス・ミュシャ《ジスモンダ》 1894年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2019
- 6 アルフォンス・ミュシャ《黄道十二宮》 1896年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2019

- 7 天野喜孝《幻夢宮》 1986年 アクリル、カラーインク・紙 ©YOSHITAKA AMANO
- 8 テリー・ムーア『ストレンジャーズ・イン・パラダイス』(Vol.3, No. 52 / アブストラクト・ 스튜디오) 1996年 コミック・ブック ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2019
- 9 松苗あけみ《青空とチューリップ》「ロマンスの王国」(月刊ぶ〜け) 1991年4月号表紙用イラスト 1991年 カラーインク・紙 ©Akemi Matsunae
- 10 表紙デザイン: 藤島武二『みだれ髪』(与謝野晶子) 東京新詩社と伊藤交文館により共同出版された与謝野晶子の第一歌集(明治34年)の復刻版(日本近代文学館1968年) ©Mucha Trust 2019
- 11 スタンレー・マウス&アルトン・ケリー《ジム・クウェスキンのジャグ・バンドコンサート》(1966年10月7-8日 アヴァロン・ホールルーム) 1968年頃 オフセット・リトグラフ Artwork by Stanley Mouse and Alton Kelly. ©1968, 1984, 1994, Rhino Entertainment Company. Used with permission. All rights reserved. www.familydog.com

記念講演会

5月17日(日)
午後2時～(約90分)
講師: 海野弘氏(評論家・作家)
演題: 「ミュシャの三つの時代
一世紀末、1970年代、現代」

いずれも会場は名古屋美術館2階講堂、定員180名(先着順、午後1時30分に開場し、定員になり次第締切) 入場無料、ただし聴講には観覧券(観覧券の半券も可)が必要です。
※講演会などで手話通訳・要約筆記などによるサポートをご希望の方は、当日の2週間前までにご相談ください。

記念コンサート

5月31日(日) 午後3時～(約45分)
演奏: アトリエゾン SOU
場所: 名古屋美術館地下ロビー(無料)

閉館後の展示室内での特別鑑賞会 (人数限定、有料)

●名画のタペ(学芸員による解説) 5月9日(土)
●クラシックのタペ(学芸員による解説+コンサート) 6月13日(土)
各日午後5時～ 事前申込制 詳細は名古屋美術館公式サイトをご覧ください。

展覧会解説会

5月24日(日)
午後2時～(約60分)
講師: 中村暁子
(名古屋美術館学芸員)

「みんなのミュシャ」 オフィシャルサポーター/ 千葉雄大と山田五郎



千葉雄大



山田五郎

俳優にとどまらず、幅広く活躍。展覧会サポーターとして、ミュシャの魅力を広げます。音声ガイドにも挑戦!

編集者・評論家。ミュシャから音楽、マンガと幅広いジャンルにわたる本展の魅力を、余すところなく紹介します。

本展では画題作品保護の観点から、日本のマンガ作品、グラフィック・アート作品は一部複製展示となります。画題の展示詳細については、展覧会ホームページをご覧ください。